

2012-01-06

ふじさわ・九条の会ニュース

NO27



発行人 ふじさわ・九条の会 事務局長 斎藤隆夫 0466-35-7104

hp:http://www.geocities.jp/fujisawa_0jo

meil:chibitasaito@jcom.home.ne.jp

脱原発を進め、

再生可能エネルギーで自然な暮らしを

—10・21秋の学習会— 講師 竹村 英明氏



今年の秋の学習会は、10月21日市民会館第2展示ホールで、環境エネルギー政策研究所顧問の竹村英明氏を招いて、脱原発と再生可能エネルギーについての講演を聞きました。

参加者は60名でした。

＜福島第一原発の状況は＞

東電も政府もスピーディーな情報を隠し、周辺住民を平気で被曝させました。2か月ほど過ぎて国際原子力機関への報告で、初めて福島原発がメルトスルー状態にまでなっていることが明らかになりました。その後、1号機はほとんどの燃料が出て、格納容器下部のコンクリートを65センチも溶かしていることが明らかになりました。

＜福島原発は津波の前に壊れていたすべての原発が危険！＞

東電と政府は津波で大きな被害があったと言っていますが、1号炉があれだけ早くメルトダウンしていたのは、地震で圧力容器の配管が壊れ、熱水と高圧蒸気が漏れてしまったからです。

＜放射能の被害はこれからです！＞

セシウム137の半減期は約30年なので、これから長い間放射能は蓄積され、なくなりません。ロシアのチェルノブイリも25年たって、まだ住み続ける事ができないのです。福島はもとより、首都圏のホットスポットも子どもたちに被害を与え続けます。でも、各地のデータを政府が公表し、福島現地からの疎開などの対策をすれば子どもたちへの被害を減らすこともできます。食べ物の汚染で目立つものはお茶からきのこ等へと移っていますが、今後は海産物にも気をつけましょう。

＜再生エネルギーで自然な暮らしを原発止めても大丈夫＞

今年の臨時国会で成立した再生エネルギー法は、10年ほど前にドイツで出来、今まで進められてきたものです。最大電力を乗り切る事は、揚水発電で2570万kwほど。100万kwの原発26基分の潜在能力が日本にはあり、電気は足りているのです。

太陽光（孫さんの休耕田などを使ったメガソーラー）&太陽熱や風力発電（原価も安く、洋上発電は有力）は今世界で飛躍的に伸びています。地域で小水力や地熱&バイオマスなどの発電でネットワークをつくれれば原発なしで暮らせます。発電・送電そして配電の分離でより効率的で自由な電力体制へ。上関原発の予定地の祝島では、自然エネルギー100%のプロジェクトが始まっています。（文責・久保博夫）

九条の会の 全国集会に参加して

白田 眞木



10月19日の交流会にふじさわ九条の会の金子不二子さんと二人で行って参りました。

始めの全体会で、大江健三郎さん、奥平康弘さん（憲法学者）、渾地久枝さんから、それぞれご挨拶

がありました。3人とも、潑刺とユーモアあふれる元気な御挨拶に、感動させられました。お身体をお大切に、どうぞこれからも長くこのようにご活躍いただきたいものと願わずにはられませんでした。

午後は一般分散会に参加しました。全国各地のユニークな運動が次々紹介されてゆきました。私は第2会場で、伺ったお話の中に4つほど心に残った取り組みがありました。

①、九条ニュースに、一般会員の方々からも広く寄稿を募って、一つの発言を受けて、私はそれについてこう思ったとか、私にもこんな体験があるからぜひ発表したいとか、紙面は豊富なコミュニケーションの場に。

②、若い人たちへのアピールをと、高校門前での宣伝活動に学校の許可をいただき、下校時にチラシを配布。

③、朝の通学時間、近所のバス停に署名用紙を持って立ち、そこにやって来る若者達へ初対面の日には署名用紙を渡し、「翌日ここで待っています。」と伝えて、5人のうち2人が署名して来てくれた。

④、署名用紙は、一紙一筆。一枚の署名用紙に、一人だけの名前を書いていただく。一人が何人分もの家族の名前を書いてしまったりせずに、一対一丁寧に語り合いながらを大切にしている。

等、全国各地でそれぞれの工夫を生かして、若い人へ、丁寧に分かり易くを大切に活動を進めていらっしゃるなあと思いました。

おしまいの会の小森事務局長御挨拶。「おしま

いの会というものは普通、始めの会より人数は減っているものだが、見渡してもその数は減っていない、熱意の集い。またその顔ぶれは、高齢者中心！日本にはこのような世界に誇る高齢者中心の質の高い平和運動が存在する。ここに共につながり合えることを喜びとして、これからも頑張ってみましょう！皆さんどうぞお元気で！」と、汗を拭きふき力強く。

帰りの電車の中も、金子さんとべちゃらくちゃらとしゃべり場で、電車も乗り間違ったりしてしまいましたが、道中も楽しい勉強の一日、本当に有難うございました。

六会・ふるさとまつりに 「六会・九条の会」が出展



10月15日～16日の2日間、第34回「六会ふるさとまつり」が開催され、当会も例年通り展示班として参加しました。以下4つのパネルを展示しました。

①、六会・九条の会と「平和の輪を広げる湘南・江ノ島会議」

②、原発と原爆

③、原発卒業だよ！全員集合」と「戦友たちはなんのため占守島で死んだか」

④、ピースリングバスツアーに行ってきました。

「私は15日、16日の午後が説明当番でした。今までの展示は、文字が小さく説明文が多くて、なかなか足を止めてもらえなかったのが、今年は写真と文字を大きくしました。東電福島第一原発の事故がみなさんの関心事で、最初に事故の写真をじっくり見ておられる人が多かったようです」（六会・九条の会ニュースより）

2011年12月8日 「不戦の誓い平和行動」

太平洋戦争開戦の日、終戦の日、つまり12月8日と8月15日を記念して、毎年藤沢駅北口サンパール広場で、「ふじさわ九条の会」など多くの市民団体が賛同し市民の集まりをしています。

今年の12月8日は、アフリカの太鼓、辻堂九条バンド、津軽三味線、藤沢合唱団の各演奏の間に、市民の平和への思い、議員の方々の発言、そして今回は福島から駆けつけた牧場主の



—原発被害を受けた福島牧場主の訴え—

訴え、などを組みこみ、二時間にわたって通行するたくさんの市民の方々に、メッセージを伝え、ちらしを渡して戦争と平和、原発の問題を考えてくださいと呼びかけました。

開戦の日も、終戦の日も知らない人が多く、戦中育ちでも忘れ去っている人が多数です。

日本人はよかれあしかれ、すべて水に流すのが好きなどころがあります。戦争も原爆も本当の検証をしないまま年を経て、核の平和利用という国策に乗って来てしまった現実に、今はつきり気付かされたところです。

私たちはこの行動の意味について毎回考えます。「不戦の誓い」の催しは、小さな意志表明と呼びかけの場に過ぎないかもしれませんが、やはり色々な場所、方法で声を出し続けていくことが必要だと考えています。催しの企画は更に新しいスタッフを加えて、もっと豊かな内容に発展させて行かなければならないでしょう。

通行して行く人々の心により強く何かを残すために、是非皆さまもご一緒に考えて下さい。

(文責 岡村孝子)

御所見地区で初めてチラシ配布 終了後、楽しかった懇親会

ふじさわ・九条の会では 市内の色々な所でチラシの配布を行っています。

今回は、藤沢の北部の田園地域の御所見地区での配布でした。私が担当した場所は、畑の多い所で、あぜ道で人通りはほとんどなく、数十軒の民家のポストに配布しました。人声も無く、時々牛や羊の鳴き声が聞こえてきました、畑の中には、菊が七株から八株くらい半円にかたどられ、美しく咲いていたのが印象的でした。日本の秋はやっぱり菊ですね。チラシを手に日本の秋を堪能して来ました。



最後に用田市民の家で、地元の方々と、お茶とお菓子を頂きながら楽しい交流の一刻を過ごしました。

(永田陽子)

関心の高さを示した 「祝の島」上映会 —江ノ電沿線九条の会—



3. 11以降、目に見えない放射能禍に子供の将来を不安に思いながら思わず人はこの藤沢にも沢山います。

そんな時だからこそ、山口県の上関町の原発施設に命がけで反対運動を続けている祝島のことを描いたドキュメント映画を見てもらいたいという強い気持ちで上映を決めました。でも「労働会館でも見たから」という人もいてなかなか人を集めることができませんでした。しかし、当日は予想を超える参加者でした。ダイバーの武本さんのお話と映像も皆様に満足いただけました。「腰越九条の会」との二度目の共催も成功した理由の一つです。川崎、横浜、海老名、茅ヶ崎そして鎌倉からも沢山の参加者があり、90名を越す盛会でした。
(折原美知子)

「かながわ9条まつり」に 「ふじさわ・九条の会」も出点



11月13日、晴天とはいかなかったが、風も無く穏やかな日に横浜大通り公園で「2011かながわ9条まつり」が開催されました。

各地の九条の会がブースを持ってさまざまな物品を売っていました。我が「ふじさわ九条」の会も、クッキー シフォンケーキ 虹の旗 Tシャツ 九条ボールペンなどなど。お祭りには欠かせないやきそば、やきとり、など声高に呼び込みながら売っているブースもありました。

「ふじさわ」は呼び込みも静かに女性達が頑張ってクッキー シフォンケーキは完売しました。

舞台ではミュージシャンで演出家の黒田雄治さんの歌、合唱、フラメンコ、月桃の花歌舞団のエイサーなどが上演されました。残念ながら人の集まりは例年に比べて少なく寂しいように思いました。いつも横浜公園で行なわれるのですが、今年は工事中で大通り公園で行なわれました。場所の問題もあったかも知れませんが、

人通りの少ないところのように思われました。

今年は福島の特産を扱うブースが設けられました。漬物、野菜、酒参加など、甘党には福島米甘酒、辛党には福島の地酒と男性軍も、女性軍もそれぞれの酒でヤキトリくわえながら（少々辛かったが）乾杯です。

最近、大震災を隠れ蓑に『非核三原則』『武器輸出三原則』をなきものにし、平和国家日本の基本である九条を変えようと『憲法審査会』が動き始めています。そんな中で各地「九条の会」が「我らここにあり」と存在を主張し、明日への鋭気を養った次第です。機会がありましたら9条まつりに参加して楽しみましょう。（見城）

「ふじさわ・九条の会」 7周年記念行事の企画決定

日時 2012年4月7日

13:00開演（13時開場）

場所 藤沢市民会館小ホール

講演 日弁連会長 宇都宮健児さん

パレード 集会後、市民会館から藤沢駅周辺までピースパレード

「月桃の花」歌舞団のエイサーと「ナンカナンカ」のアフリカ太鼓のリズムが先導する楽しいパレードで、市民に「憲法のすばらしさ」を訴えましょう。みなさんのアイデアあふれるプラカードなどで、市民の注目を集めましょう。

◀今後の主な日程▶

1月9日（月）9の日行動 12時より藤沢駅南口
成人式は藤沢市民会館 13:30～

1月19日（木）事務局会議 18:30～
市民活動推進センター会議室

1月30日（月）8回世話人会議 18:30
市民活動推進センター会議室

2月5日（日）藤沢市長選告示日

2月9日（木）9の日行動 サンパール広場
13:30～

2月12日（日）藤沢市長選投票日

2月20日（月）事務局会議

2月29日（月）13時30分世話人会